

民意の正体

vol. 21『民主主義』と「学びあい」で述べました。「民主主義の成功のためには、私たちが権者全体が、恐怖や怒りなどの感情、個人的な利害、マスコミ等による情報操作や扇動等に惑わされず理性的な意思の決定ができる社会が不可欠。」過去の歴史を振り返ると「民意」は全くあてにならないです。中世ヨーロッパ時代の民衆裁判による魔女狩り。世界恐慌時のドイツのヒトラーのナチス党支持。第二次世界大戦時の日本では「お国のために死ぬことこそが正義である。」とし、最終的には民衆主導で青年たちを出征させました。今もあまり変わらないのかも知れません。ネット上では思惑を持った人たちによる自己本位な偏った意見に同調する人々。ちよつとネガティブな情報が流れれば、みんなでボコボコにして、再起不能にする…。私たちひとりひとりが「民意とは付和雷同的に形成される。」という事を認識し直す必要があります。その上で、テレビに出ている政治家が「民意」という言葉を使う度に違和感を感じます。恐らく「国民目線」という事ですが「実体のない民意をよりどころに政治します！」と主張しているように感じられて…。私の考えを述べます。「市民の顔色を窺って媚を売る」政治なんてまともじゃないです。個々人の志に根差した活動を行うべきです。…もちろん、他人の意見に耳を傾け、独善的にならないようにする事は大切です。vol. 3「政治家に最も大切な心構え」でも述べた通り「団体や企業も含めて、分け隔て無くいろいろな意見・考えを聞いた上で、自分の良心に従って意見を構築。その上で、恐れを持たずみんなにその意見を正確に伝える。そして、異なる意見の人に対して、真摯に説得を行い、ひとりでも多く理解してもらおう努力を行う。」を実践します。今回は皆さんへの提言というより自分への戒めになりました。「みんながそう言ってるよ！」等の言葉を鵜呑みにして思考停止して、気づかないうちに易きに流されているのではないか…：試行錯誤の毎日です。みなさんも『自己本位・画一的』でない考え」を意識して話し合ってください。個々人の想いが集まれば良い社会が形成されます。今日も1日、素敵な日を過ごせますように。気をつけて行ってらっしゃいませ！

平成25年1月16日

増田好秀